

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

組合のボランティア活動

関根建設様(小中町)、飯野油店様(戸奈良町)に2tダンプの貸し出しなどご協力をいただきました。ありがとうございました。

台風被害を命と財産守る教訓に 被災組合員が語る「あの時」の判断

10月発生した台風19号により、組合関係者も県内各地で床上、床下浸水、車両水没等、確認できただけで20人以上が被災しています。なかには生命の危機に直面した人も。教訓にしたいと思います。



このくらいでも開かない。ハンマーの携帯を。

内田和行さん(佐野市)は避難指示が発令されているなか、近所に住む知人を心配し軽自動車で知人宅に向かいました。
「葛生の住友大阪セメント工場の近く。あつという間に小曾戸川から氾濫した水が車の60cm位まで上がってエンジンがかからないし水圧でドアも開かない。携帯で警察に電話した」ところが一時間待っても助けは来ません。車内の水位はどんどん上がり溺死を覚悟した

野坂幸子さん(足利市)は足利フラワーパークの近くにある自宅被災しました。

「避難指示がでていることはわかったけど大丈夫だと思っただけで避難しなかつた。そもそも車がないから避難できない。そのうち部屋の中まで浸水して家具が浮き始めて押し入れの上段に避難しました」さらに水位が上がってきたところゴムボートに乗った救急隊員が救助に



押入れに避難してあの窓から救出されました

来ましたが、ボートに乗るまでが大変でした。「玄関からは出れないから窓からやっと救出されました。ほんと怖かったです。家財はすべて失いました。保険も入っていません。不明な点はお問い合わせください。

てないしこれからどうしていいか不安です」。



栃木市の観光地「蔵の街」から畳計98枚を搬出する組合員



佐野市の災害ゴミ仮置き場。普段とは違い「手降ろし」

河川の防災対策を

組合では毎年夏のキャラバン行動で、豪雨災害に対応した防災工事の強化を栃木県に要請してきました。
今回堤防が決壊した佐野市内の秋山川も、堤防の補強や川底の浚渫などは強化されています。
足利市、鹿沼市、栃木市などの河川対策も急務です。
県民の生命と財産を守る防災事業をあらためて求めていきます。
参加した杉江久さん「腐った畳からキノコが生えていた。観光地にこんなのが放置されてるとは驚きだ」。

防災・減災対策進めるうえで ダンプ・建設労働者の担い手を

ダンプ支部第39回定期大会

ダンプ支部は十一月一日、佐野市内で第39回定期大会を組合員70名が参加し開きました。

災害対策インフラ整備の強化を求めたい。そのためにも対策の要となるダンプ・建設労働者の労働条件改善は国民的課題」とし、担い手が育つ環境をつくる運動に取り組みことを提案しました。

工藤委員長はあいさつのなかで、「高齢者の交通事故が社会問題になってきているいま、組合もこの問題に向き合わざるを得ない」と交通事故対策の重要性を訴

健康管理と事故防止を学習

大会では特別講演として損保社員による安



台風被害を踏まえて、全労済職員から自然災害への備えについて資料説明をしていただきました。

「すべての業務はお客様重視」 三菱ふそうの姿勢を問う

三菱ふそうは十一月から親会社タイムラー社の組織再編により新体制に移行します。マーティン会長は声明で、「すべての業務は、お客様重視で行います。お客様の成功が当社の成功となります」と述べています。



先月組合員の運転する三菱ふそうが運転中全焼。組合員は脱出して無事。原因不明。配線系は要チェック。

組合員Kさん、Tさんからはディーラーでの修理の対応について、相談が寄せられました。部品の納品に一月以上待たされています。いずれも発売からまだ三年、四年の車両であり、部品の供給システムを疑わざるを得ません。「これじゃ仕事にならないよ。休業補償をしてもらいたい」と訴えます。

Aさんの場合、コンピューターの不具合により、何度も入庫を強いられいまだ原因不明の状態です。あるディーラー関係者は語ります。「いまの状況は異常です。メーカーは現場の実態を知らない。コンピューター化によって町場の修理工場では対応できない車両が増えディーラーに修理が集中している。ところがサービスは人手不足で慢性的な過密状態。働き方改革で長時間残業もできない。今年発売の「スーパーグレート」は自動運転レベル2の機能を持っているが、さらに修理が難しくなるのでは...」程度の差こそあれ、他のトラックメーカーも同様の問題を抱えています。

消費税5%に反対 インボイス絶対反対

10月から強行された消費税率の引き上げにもともなう来年の確定申告の注意点や、売上に係なく消費税申告を強いられることとなる「インボイス制度」の問題点なども学習しました。消費税率の引き上げにより来年はさらに景気の悪化が懸念されています。

大企業への優遇を是正すれば、5%に戻すことは十分可能であること、インボイス制度も世論の力で導入を阻止することができること、そのためにも野党共闘を支援することが重要であることを確認しました。

提案された方針、決算、予算が採択され、役員が選出されました。

佐野ラーメン放浪記【26】

有名店も台風被害に再建めざして奮闘中



浸水被害にあった老舗「山銀」。被災者支援のため3日間100食限定100円ラーメンを提供。エライ！

台風19号によって佐野ラーメン店も10軒近くが被災しました。多くの店舗が再建をめざして被害直後から泥出しや調理器具の洗浄に奮闘しました。台風が直撃した日は3連休の初日とあって大量に食材を仕入れていた店舗も多く、なかには2千万円以上の損害も。「麺屋ようすけ」や「日向屋」といった人気店は常連客も復旧作業を手伝いました。

大会会場の「あくどプラザ」は佐野市の指定避難所です。ところがここは秋山川より低く、避難した組合員は葛生中学校への2次避難を強いられました。避難所のあり方も徹底的に見直す必要があります。